



規律と規範で学びを高める

学校長 村越 新

一学期も残りわずかとなりました。七月は、学習のまとめの月でもあります。学習内容とともに、本年度指導してきた「学習規律」と「学習規範」のいくつかを重点的に確認していくことにしています。

「**学習規律**」とは、集団で学ぶ上でのルールです。自他ともに気持ちよく学べるための規律です。「**学習規範**」とは、学ぶ者として、学ぶ上で必要となる姿勢です。

今月、特に重点的に確認するのは、以下のことです。

【学習規律】

- ① 発言者は、**皆が黙ってから**、友達に向かって話す。みんなが聞こえる声で。
- ② 友達の話をして黙って**最後まで聴く**
- ③ **学習準備**は、休み時間のうちの行っておく
- ④ ワーク等配布されたら、すぐに**最高の字**で名前を書く
- ⑤ 名前を呼ばれたら「はい」と**気持ちよく返事**をする

【学習規範】

- ① 分からなかったら**友達に訊く**、困ったら**大人に相談**する
- ② 課題（宿題）は、**最後までやり切る**
- ③ **聞かれていること**（条件）にあった解答をする
- ④ 友達のよい発言には、拍手などで**肯定的な反応**を示す
- ⑤ 問題解決が終わった後も、**学習を止めない**（説明する、問題を作るなど）

特に学期末ということもあり「課題は最後までやり切る」意識を身につけさせたいところです。毎月行っている「**国語チャレンジ**」（3年生以上）、「**算数チャレンジ**」（全校）についても、すべての子が100点になるまで、私が丸つけを行っています。「分かる」「できる」こと以上に、最後までやり切ることを、一番大切にしているのです。

前号でもお伝えしましたが、テストや作品を持ち帰りましたら、やり切ったことについて特にほめてあげてもらいたいです。それが次への意欲につながり、自走する姿を生み出すエネルギーになるはずです。



「あゆみ」について

終業式に渡す「あゆみ」について、いくつか確認事項をお伝えします。詳しくは7月6日付で配信しています。

○「学習のようす」については、絶対評価です。他と比較することではなく、基準に達しているかどうかで評価をしています。

○主体的に学習に取り組む態度については、以下の姿で見取っています

- ・授業中に質問をする姿、分からないことを友達に聞く姿
- ・「振り返り」の姿勢（記述内容）
- ・学校外で学習する姿（家庭学習のみならず、休み時間等の活動）

○「生活のようす」については、個人内評価です。ある程度の基準はありますが、個人としてよくできていること、伸びたことを評価しています。

○各項目の視点については共通で設定しています。

例 あいさつ

- ・登校を見守って下さる方に気持ちのよいあいさつができる
- ・校内では、相手の名前をつけてあいさつができる
- ・教室内で配布された相手に「ありがとう」が言える

○行動等の記述がない代わりに、一人ひとりに「がんばったこと」「伸びていること」「伸びが期待できること」「がんばってほしいこと」等を口頭で伝えます。

通知表の本質をご理解いただいた上で、お子さんのやる気を引き出すような声かけをして下さるとありがたいです。

小さな命を通して

先日、アサガオの花を一年生と共に見つけました。今年度の第一号は、きれいな紫色でした。毎日世話をしている一年生数人が、自分のことのように喜んでいる姿に、感動しました。



二年生は、野菜を育てています。先日も収穫したキュウリとミニトマトを校長室に持ってきてくれた子がいました。自分が育てた植物によって、他の人が喜んでくれたことで、嬉しさも倍増したようです。



雨の日でも傘をさして鉢植えまで足を運ぶ子も少なくありません。「今日は雨だから水はあげないよ」という声が聞こえてきそうな気がします。

小さな小さな命ですが、学ぶことは大きいはずです。手入れの仕方だけではなく、責任感や自分の存在価値までも実感できるはずです。